

野口冬人の

遊 湯

第十八回 シャコタンブルーの海と港町

小樽 朝里川温泉・北海道



No.018
北海道小樽市新光
「小樽 朝里川温泉」

北海道の港町として古くから開拓の歴史を刻む小樽。石造りの大正・昭和初期の建物を残すウォール街、運河の風景。北の果ての渚百選に指定された積丹の海へ車を走らせたあと、近年忘れられがちな朝里川温泉を訪ねる、北海道再発見の旅を楽しんだ。



右ページ:岩で囲った露天風呂の源泉は美肌の湯。水車のまわる庭園を楽しみながら入浴。
上段:シャコタンブルーが印象的な積丹の海
中段右:朝里川温泉の宏楽園外観
中段左:余市のニッカウイスキー工場
下段:海の幸、山の幸の夕食



小樽は好きな北海道の港町である。今まで春、夏、秋、冬と四季にわたって幾度か訪れた。それぞれの季節の良さはあるが、とりわけ初夏の頃に訪れたのが印象に残っている。

ファンタジックな景観を見せる小樽運河や時代を偲ばせる石造りの豪快な建物を連ねる北ウォール街の町並み、五つの埠頭が並ぶ港の風景。今回はどんな豪華客船が寄湾しているか楽しみに港へ行ってみる。

時にはレンタカーを借りて、積丹半島まで足を延ばしてみたこともあった。バスの便もあるが、少し自由に動きまわるにはレンタカーが便利だ。

国道5号、229号と一気にたどって、積丹の神威岬へ。パーキングに車を置いてから、笹の密生する中の遊歩道を登って岬の突端に立つ。沖には岩礁の神威岩が突き立ち、青く澄み渡った積丹の海が広がっている。「シャコタンブルー」と呼ばれる海の色だ。沖繩の海の青さとはまた違った濃さがある。この海の色に、私は惹かれてならないのだ。

はるかなる積丹の果てまでやってきた思いにしばらく浸った。

積丹ではバフンウニと呼ばれる赤ウニの井が名物である。港の「浜寿司」で味わったあと、島武意海岸、乙姫の湯、岬の湯しやこたん、余市のニッカウイスキー工場へ。売店でウイスキーのミニボトルを求めてから、

小樽へ引き返した。

今日の宿は小樽市内のホテルにしようかと思っただが、朝里川に沿う朝里川温泉にする。温泉街に入ったところの「宏楽園」が自家源泉を持つというので、そこに宿を決めた。

広大な庭園に囲まれた本館木造二階建て、森の湯屋のある別館は鉄筋造りだが、木の香りあふれる純和風の客室は全38室。ゆっくり落ち着ける。

庭園に囲まれるような露天風呂にはアルカリ性単純温泉、27度(加熱循環)の新しい湯が、入浴することにあふれた分だけそそがれる。入ると肌にやさしいなめらかな湯だ。適応症は動脈硬化症、婦人病、皮膚病、切り傷など。

味の宿を謳うだけに、地元の食材にこだわった海の幸や山の幸は、ひとり旅では食べきれないほどの豊富さだ。満腹し、内湯でもう一度温泉を楽しんだあと、ゆっくり休む。

翌日はまた小樽市内に舞い戻り、小樽市総合博物館を訪ねた。明治十七年(1884)に造られたという小型蒸気機関車「しづか号」をはじめ、客車、気動車など鉄道の歴史を語る名車両が展示されている館内のドームシアター、プラネタリウムも人気だ。

再び市内へ戻って、中央橋の上から小樽運河と倉庫群をもう一度眺めたあと、旧北海道拓殖銀行小樽支店、緑山手通りから中央通りへ抜けてJR小樽駅へ戻ると、札幌行きの特急が出るところであったので、大急ぎで飛び乗った。



旅行作家
温泉評論家
野口冬人
のぐち ふゆと

「からだにいい湯治の旅」「温泉療養」など温泉関連の著作多数。旅行読売の温泉連載は40年に及ぶ。㈱現代旅行研究所代表、旅行作家の会代表。全国の露天風呂を評価した露天風呂番付の作成者としても有名。



<小樽運河>赤レンガと石造りにツタのからまる運河。ときに遊覧船も行き交い、河沿いの遊歩道はそのまま公園になっていて、人々の憩いの場となっている。



<小樽港>5つもの埠頭をもつ小樽湾。夏になると豪華客船クルーズの寄港もある。いつもたくさんさんの船が寄り集まって、いい雰囲気を作っている。古くは北前船の停泊地であった。



<小樽市総合博物館>鉄道ファンにとっては欠かせないポイント。小型蒸気機関車の実物、古い客車、明治時代の手宮線構内など、数々の展示物がムードを盛り上げている。



<天狗山ロープウェイ>小樽市の背後にそびえる天狗山は標高532メートル。4分の空中散歩によって小樽の港町から市街一帯が眺められる。天狗の面を展示する「天狗の館」もある。

お宿情報

●小樽 朝里川温泉「宏楽園」
TEL 0134-54-8221
北海道小樽市新光5-23-1
基本宿泊プラン料金:
1泊2食約1万5000円から
泉質:アルカリ性単純温泉

※交通
JR函館本線 小樽駅からバス約23分
札幌自動車道・朝里ICより約1分
※お問い合わせ
小樽市観光振興室
TEL 0134-32-4111

※季節によりプラン・価格が随時変化します。詳細は直接お宿にお問い合わせください。